

原理事長、「要望書」を持参し、経済産業省へ陳情訪問

3月3日、再度組合の現状を説明し把握してもらうため、原理事長と勝又顧問が梶山大臣宛の「要望書」を持参、経済産業省を訪問しました。

そこで「持続化給付金」「家賃支援給付金」の再度支給をお願いし、業界へのテコ入れ策の実施を要望しました。

結果、当該給付金の要望書は梶山大臣にお渡ししましたが、「一時支援金」「事業再構築補助金」を活用してほしいとの回答を得ました。

また、コロナ関連の業界救済策は、事業者向けには経済産業省、従業員向けには厚生労働省が分担して実施しているので、それぞれのホームページ等から情報収集するようにとの指導を頂きました。

経済産業大臣
梶山弘志 殿

新型コロナ対策に関する
要 望 書

バンケットサービス業界は、イベント・宴会主催者のアシスタントとなり、イベント・宴会の円滑な進行をお手伝いする職業として、社会的に広く受け入れられて来ました。

しかし、昨年来の新型コロナ禍により、イベント・宴会の開催が100%近く難しくなり、業界は絶滅の危機に直面しております。

このままでは、3月末には倒産続出＝業界消滅となります。この難局を乗り切るため、以下の2点について特段のご配慮をいただきたく衷心よりお願いします。

令和 3年 3月 3日

日本バンケット事業協同組合
理事長 原 泰 男
東京都文京区本郷1丁目5-17
三洋ビル28号
電話 03-5804-4891



記

1. 持続化給付金制度を再適用すること
2. 家賃支援給付金制度を再適用すること